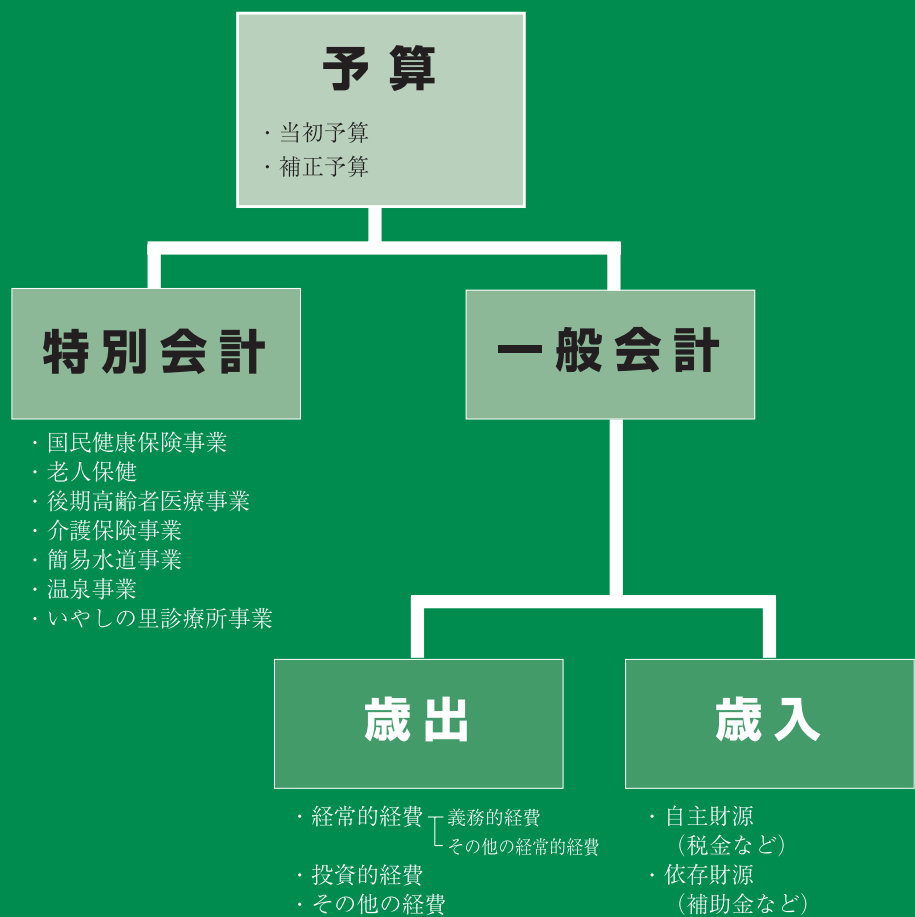


私たちの予算

はじまります ←

平成20年度



平成20年度の予算が決まりました。

予算と聞いて、皆さんはどう思いますか。予算って難しい？

数字ばかり並んでいて、分かりにくい？

町の1年間の収入と支出を、あらかじめ計算して見積もるのが「予算」です。町の財政状況や、今年度の重点的な事業がこの予算から分かります。

予算とは、いわばこの町の設計図です。ムダに税金が使われていないか。効率的に運営できているか。チェックするなら、まず予算から。

「この町を良くするために」この大原則に沿った予算が組まれているか、ぜひ皆さんでチェックしてみてください。

平成20年度当初予算方針

「水と森の番人が創る癒しの里」豊かな自然、お茶と温泉に彩られた、誰もが安心して暮らせるふるさと」を目指した第1次川根本町総合計画がスタートし、2年目となります。

現在、私たちの町を取り巻く環境は、地方分権の推進により「自らのことは自らの意思で決定し、権限や責任も自らが持つ」という「地域主権型社会」への転換が求められています。

このような時代の流れの中、人口減少・高齢化という21世紀の社会において川根本町が元気で輝いた、個性と魅力ある地域を維持していくためには、住民、地域コミュニティ、企業や行政など多様な主体がお互いの役割を確認し、まちづくりの担い手になることが求められています。

それらの前提となる「情報の公開」はもとより、さらに進んだ「情報の共有」により地域の将来像を共有することが大切です。

平成20年度の当初予算は、昨年度と同様、本町の歳入規模・身の丈に合った中で、総合計画の基本方針に基づき効果的な事業の実施、合併効果と行財政改革の推進を柱に住環境

の整備、効率的な行政サービスを目指し編成しました。

平成21年3月には、富士山静岡空港が開港となります。これにより川根本町の交流圏域が広がるとともに観光客など交流人口の増加が予想されます。

川根本町が持つ地域資源への自覚、誇りの再認識とともにこれらを活かし住民の暮らしや伝統・文化・風土を守りながら住民との協働による地域社会の自立を目指します。